

ギニア月報(2023年6月)

主な出来事

【内政】

- 1日、FVG は6月のデモの一時停止を発表。
- 1日、釈放された FNDC 幹部が、コナクリ空港で出国を拒否される。
- 1日、デモを行った前大統領派9名に対し禁固刑と罰金刑の判決。
- 2日、新憲法制定のための公開討論会が終了。

【外政】

- 4日、暫定大統領がトルコを訪問し、トルコ大統領と面会。
- 9日、露からマリへ供与される小麦がギニアへ到着し、暫定政権が引渡式典を実施。
- 24日、AU 議長兼コモロ連合大統領がギニアを訪問し、ドゥンブヤ暫定大統領と会談。

【経済(経済協力含む)】

- 5日、西アフリカ沿岸の違法操業による被害額は年間23億ドル(アムネスティ・インターナショナル報告書)。
- 6日、欧州投資銀行(EIB)の代表団がギニアを訪問。

1 内政

- ・ 1日、市民・政党勢力である FVG は、6月のデモの一時停止を発表。学生の試験期間及びイスラム教徒の巡礼月であること等を考慮。
- ・ 1日、市民勢力である護憲国民戦線(FNDC)の幹部であり活動家のイブラヒム・ディアロ氏が、コナクリ空港で出国を拒否される。暫定政権によって9か月間拘束され、宗教指導者の要請で釈放された同氏は、市民社会の会議へ参加するためニジェールへ向かおうとしていた。
- ・ 1日、カンカンの裁判所は、5月に前大統領の復帰要求のデモを行った女性9人に対し、6か月の禁固刑及び50万から100万ギニアフランの罰金刑を言い渡した。
- ・ 2日、暫定国民会議(CNT)が5月15日より開催していた新憲法制定のための公開討論会が終了。

2 外交

- ・ 4日、ドゥンブヤ暫定大統領がトルコを訪問。再選したエルドアン大統領と面会。同暫定大統領がアフリカ大陸以外の国を訪問するのは初。

- ・ 9日、ロシアからマリへ供与される小麦25,000トンがギニア・コナクリ港へ到着し、暫定政権が引渡式典を実施。昨年ロシアはマリへ燃料・小麦・農薬等計1億ドル相当の物資供与を行うことで合意。
- ・ 24日、アフリカ連合議長のアザリコモロ連合大統領がギニアを訪問。モハメド5世宮殿にてドゥンブヤ暫定大統領と会談。ギニアの平和的かつ包括的な民政移管に対する支持を表明したアザリ大統領に対し、ドゥンブヤ暫定大統領は謝意を表明。

3 経済(経済協力含む)

- ・ 5日、アムネスティ・インターナショナルが公開した報告書によれば、ギニアを含む西アフリカ沿岸6か国において、主にアジア系の密航船による違法漁業により年間23億ドルの損害が発生。各国当局に対し抜本的な対策を講じるよう促した。
- ・ 6日、ギニア暫定政府は欧州投資銀行(EIB)の代表団がギニアを訪問し、シセ経済・財務大臣と会談したと発表。主に飲料水、保健衛生、エネルギー、中小企業の金融アクセスについて議論。